

都知事! わたし、東京をこう変えたいです!

～留学に挑んだ高校生、世界で学び、小池知事と語る～



新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、様々な不安を抱えながらも果敢に留学にチャレンジした高校生たち。そんな6名のみなさんがそれぞれ留学先で学んだこと、気づいたことをヒントに、未来の東京都をより良くするためのアイデアを考えました。ここでは、小池百合子都知事に行ったプレゼンテーションの様子をお伝えします。

高校生によるプレゼンテーション

太陽光発電の応用を提案します!

蓄電池付きのパネルや携帯型パネルの普及、最先端技術への研究支援により、ソーラーパネルの様々な課題を解決できると考えます。発電効率が高く低コストな太陽光発電を実現させ、より良い22世紀を迎えたいです。

東京都立小石川中等教育学校第5学年
吉田真悠(よしだ・まゆ)さん
オーストラリア9カ月



脱炭素社会に向け、水素車の普及を提案します!

カーボンニュートラル達成のため、枯渇する心配のない動力源として水素車の普及を提案します。水素ステーションの建設を支援しつつ、人気の高い日本車の変革により温暖化対策に大きな風を吹かせられると思います。

東京都立三田高等学校第2学年
田川恵音(たがわ・けいと)さん
オーストラリア9カ月



都民で行う節水の取り組みを提案します!

都全体で取り組む節水アクションとして、銭湯に行こうといったイベントの開催や節水家電の購入を促進するポイント付与を提案します。銭湯は、節水のみならず日本の銭湯文化による人々の交流も期待できると思います。

東京都立町田高等学校第2学年
田中祐希(たなか・ゆうき)さん
オーストラリア9カ月



未来に向けたプラスチックの削減を提案します!

海洋汚染や地球温暖化の要因とされているプラスチックの削減のため、木や紙など代替資源への積極的な置き換え、プラスチック製品のリサイクル、バイオプラスチックの開発と導入、これら3つの取り組みを提案します。

東京都立富士高等学校第2学年
角皆茉莉花(つのがい・まりか)さん
オーストラリア9カ月



レンタルシェア農園の普及を提案します!

日本の食料自給率は約38%です。一方で家庭菜園には、土地・時間・費用の問題があります。そこで、いくつかのグループでシェアするレンタル農園を提案します。食料自給率を上げ、新しい交流も生み出せると考えます。

佼成学園女子高等学校第2学年
高谷春葉(たかや・はるな)さん
オーストラリア6カ月



自然保護・地産地消のための複合公園を提案します!

環境問題を自分事として捉えるため、東京の自生植物や地野菜を栽培する植物園に直売所を併設させた複合公園の設置を提案します。実現すれば、環境保護、地産地消、フードロス削減など様々なメリットがあると考えます。

恵泉女学園高等学校第2学年
西尾豆実(にしお・なつみ)さん
カナダ10カ月



司会進行 ハリー杉山氏



東京都知事 小池 百合子氏

イベントは、自身もイギリスと中国への留学経験を持つアレント、ハリー杉山さんの軽快なトークで進行。6名の高校生たちは、留学を通じて「将来の夢が明確になった」「視野が広がった」など各々の成果を報告しました。また、「やりたいリストを作る」「現地の先生と密なコミュニケーションをとる」など、留学生活を充実させるためのアドバイスも語られました。

続いて小池百合子都知事が登場。高校生たちは、留学を経て考えた「より良い東京にするための提案」を発表しました。様々な社会課題に対する具体的な解決案が、各自工夫を凝らしたプレゼンテーションで披露されました。

「太陽光発電」「水素利用」「節水」といったエネルギーや天然資源に関する提案に、小池都知事は「東京都は全国で初めて新築住宅などに太陽光発電設備の設置を義務づけ、我が家は発電所」を目標に施策を進めています。同時に、脱炭素社会実現の力を握る水素エネルギーの活用もぜひ進めたいところです。また、水資源の有効活用も重要なこと。日本の伝統的な生活文化である銭湯の利用と節水とを絡めた提案は面白いですね」と語りました。

続くプラスチック削減「シェア

次世代リーダー育成道場

東京都教育委員会が実施している「次世代リーダー育成道場」は、国内の事前研修で英語学習や歴史など様々なことを学んだ上で、留学にチャレンジする都立高校生等を支援するプログラムです。このプログラムを通して、世界を舞台に活躍できるたくましく国際感覚豊かな若者を東京から輩出することを目的としています。

農園「地産地消」といった自然環境保護に関する提案について、都知事は「留学先との比較から気づいた発案、とてもいいですね」とコメント。東京都が実践しているプラスチック代替素材の開発や、自給率100%を誇る米を使ったパン、東京の農産物を発信する食イベントなど様々な取り組み事例を紹介し、「地球を守るために消費者が何を選択するかも大事」と人々の消費行動にも期待を寄せました。そして、「過去に高校生からの提案に予算をつけ、実施した例もあります。東京をサステナブルな街にするため、みなさんの素晴らしいご提案も都政に活かしていきたい」と話しました。



提案内容をリアルタイムでイラスト化したグラフィックレコーディング

UAE国際交流事業の報告

東京都では、様々な国の人々と協働して世界的な課題の解決に取り組む姿勢を育むため、高校生を海外に派遣する事業も行っています。2022年は日本とアラブ首長国連邦(UAE)の外交関係樹立50周年にあたり、都立高校生22名をUAEに7日間派遣しました。その代表として、都立府中工業高等学校第2学年の金子凌(かねこ・りょう)さん、都立三鷹中等教育学校第5学年の深川佐保理(ふかがわ・さおり)さん、都立工芸高等学校第4学年の牧野翔和(まきの・とわ)さんが報告を行いました。金子さんからは、大規模廃棄物処理発電施設や大型太陽光発電施設などの最先端フリーンエネルギー施設に日本の技術が使われていること、深川さん、牧野さんからは、異文化理解を深めることも、日本の良さも積極的に発信していくことの大切さが語られました。

